

新規恒久6施設の後利用について

海の森水上競技場

東京アクアティクスセンター

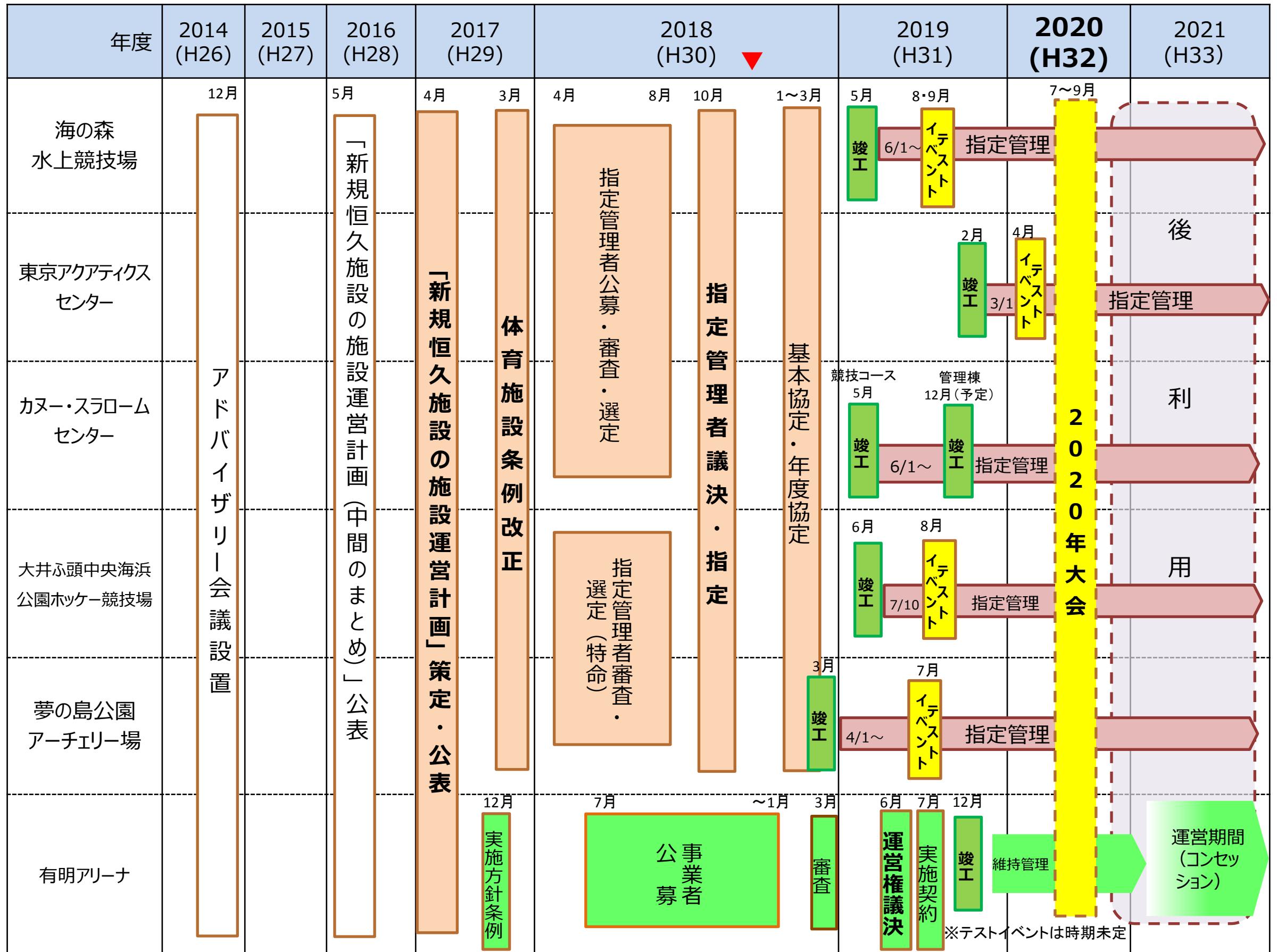
カヌー・スラロームセンター

大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

夢の島公園アーチェリー場

有明アリーナ

新規恒久施設のこれまでの経緯と今後の予定



1 施設運営計画について

- 大会後の施設運営の指針
- 大会前の早期に運営事業者を選定し、大会後の施設運営に万全を期すために策定
- 民間運営事業者から、収益向上の取組や周辺との連携策など具体的提案を募り、後利用の取組をさらに充実

(これまでの主な検討経過)

- 平成26年12月 「アドバイザー会議」 設置
- 平成27年6月 「新規恒久施設に係る後利用の方向性」 公表
- 平成28年5月 「施設運営計画(中間のまとめ)」 公表
- 平成29年4月 「新規恒久施設の施設運営計画」 策定・公表

2 3つの視点

- (1) 点(施設)から面(地域)へ
- (2) コストから将来への投資へ
- (3) 官から民へ

3 面的なレガシーの創出に向けて

- 新規恒久施設が集積する臨海スポーツゾーンの形成



4 環境への配慮

- 再生可能エネルギーの導入、省エネルギー技術の導入を検討するなど、環境に最大限配慮した施設としていく

(取組例)

地中熱利用ヒートポンプ、太陽光発電設備
コージェネレーション、遮熱性舗装、植栽



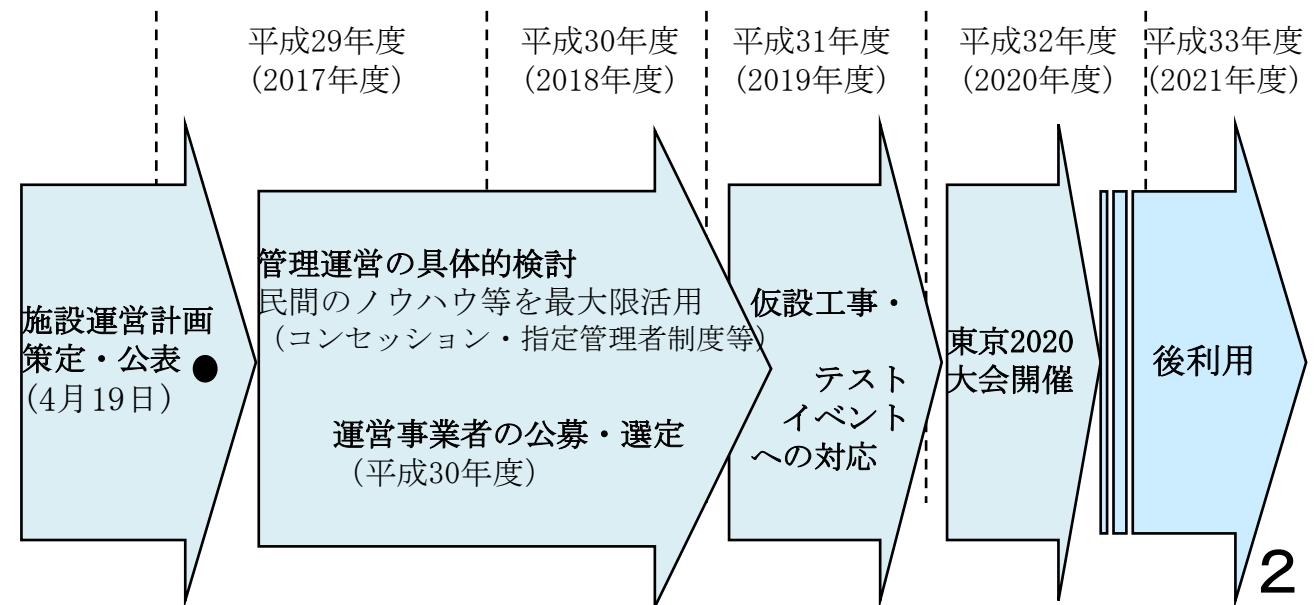
5 施設のバリアフリー

- 障害の有無にかかわらず全ての人にとって利用しやすい施設としていく

- ・ 大会運営におけるバリアフリー化の指針であるアクセシビリティ・ガイドラインで最も厳しい基準である推奨基準を可能な限り適用
- ・ アクセシビリティ・ワークショップで、障害者団体などから具体的な意見を聴取

- 障害者スポーツの普及促進に向けて、大会や練習、体験の場を提供

6 スケジュール



海の森水上競技場

- (1) 主なレガシー
アジアの水上競技場の中心となる国際水準の水上競技場
 - ・アスリートの強化、育成
 - ・水上競技の裾野拡大
- (2) 後利用の視点
 - ・年間30大会を開催
 - ・水上スポーツ体験や水上レジャーの機会を提供
- (3) 周辺施設等との連携
 - ・海の森公園(仮称)と連携し、臨海部の新たなにぎわいの場を創出
- (4) 年間来場者目標 35万人
- (5) 管理運営
 - ・指定管理者制度による管理運営



東京アクアティクスセンター

- (1) 主なレガシー
日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場
 - ・世界を目指すアスリートを育成
 - ・水泳の裾野拡大と次世代アスリート候補の育成
- (2) 後利用の視点
 - ・年間100大会を開催
 - ・子供から高齢者まで、スポーツや健康増進に取り組むことができる場
- (3) 周辺施設等との連携
 - ・辰巳の森海浜公園と一体となったにぎわいを創出、都民の憩いの場
- (4) 年間来場者目標 100万人
- (5) 管理運営
 - ・指定管理者制度による管理運営



カヌー・スラロームセンター

- (1) 主なレガシー
 - ・国内初の人工スラロームコースとして、アスリートを強化、育成
 - ・水上スポーツや水上レジャーの機会を提供
- (2) 後利用の視点
 - ・年間7大会を開催
 - ・水上スポーツ体験やラフティング、水難救助訓練など多目的に利用
- (3) 周辺施設等との連携
 - ・葛西臨海公園、葛西海浜公園と連携し、にぎわいを創出
- (4) 年間来場者目標 10万人
- (5) 管理運営
 - ・指定管理者制度による管理運営



大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

- (1) 主なレガシー
 - ホッケーをはじめ様々なスポーツで利用できる多目的球技場
 - ・ホッケーの競技力強化、普及・振興
 - ・都民が様々なスポーツを行うことができる場
- (2) 後利用の視点
 - ・年間23大会を開催
 - ・様々なスポーツ大会や練習で利用
- (3) 周辺施設等との連携
 - ・大井ふ頭中央海浜公園全体としてスポーツ・レクリエーション拠点を形成
- (4) 年間来場者目標 20万人
- (5) 管理運営
 - ・指定管理者制度による管理運営



夢の島公園アーチェリー場

- (1) 主なレガシー
 - アーチェリーの主要大会の会場として活用
 - 都民に憩いの場を提供
- (2) 後利用の視点
 - 年間20大会を開催
 - 大会等での利用時を除き、自由に利用できる芝生広場を提供
- (3) 周辺施設等との連携
 - 夢の島公園内の施設と連携しイベントやスポーツ教室など幅広いプログラムを提供
- (4) 年間来場者目標 3.3万人
- (5) 管理運営
 - 指定管理者制度による管理運営



有明アリーナ

- (1) 主なレガシー
 - 東京の新たなスポーツ・文化の拠点
 - 質の高いスポーツ観戦機会を提供
 - コンサートの開催など文化の発信拠点
- (2) 後利用の視点
 - 年間10大会を開催
 - メインアリーナに仮設の木製床を設置し、各種競技大会等で活用
 - 魅力的なエンターテインメントや身近なスポーツ実践の場を提供
- (3) 周辺施設等との連携
 - 有明親水海浜公園(仮称)と連携し、健康づくりやにぎわい創出の空間を提供
- (4) 年間来場者目標 140万人
- (5) 管理運営
 - コンセッション方式による運営



東京都体育施設の指定管理者選定について

1 指定管理者・指定期間

	施設	指定管理者（◎代表団体）	指定期間
公募	海の森水上競技場	海の森水上競技場マネジメント共同企業体 ◎（一財）公園財団 （株）協栄、日建総業（株） 野村不動産ライフ＆スポーツ（株） <応募1団体>	平成31年6月1日から 平成35年3月31日まで
	カヌー・スラロームセンター	◎（株）協栄（単独応募） <応募2団体>	平成31年6月1日から 平成35年3月31日まで
	東京アクアティクスセンター	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ ◎（公財）東京都スポーツ文化事業団 （株）オーエンス セントラルスポーツ（株） （公財）東京都水泳協会 <応募2団体>	平成32年3月10日から 平成35年3月31日まで
特命	夢の島公園アーチェリー場	アメニス夢の島グループ ◎（株）日比谷アメニス 日建総業（株）、アズビル（株） （株）日比谷花壇、（株）グリーンバル （株）エコルシステム	平成31年4月1日から 平成35年3月31日まで
	大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場	アメニス海上南部地区グループ ◎（株）日比谷アメニス 日建総業（株）、太陽スポーツ施設（株）、 （株）エコルシステム	平成31年7月10日から 平成35年3月31日まで

2 選定方法、選定の経緯

(1) 選定方法

ア 海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター及び東京アクアティクスセンター …… 公募による選定

イ 夢の島公園アーチェリー場及び大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 …… 特命による選定

【特命理由】 公園と同一の指定管理者が管理することが効率的なため、特命とし現行公園の指定管理者を選定

(2) 選定の経緯

平成30年4月13日に募集要項の公表等を行い、外部委員と行政機関関係者で構成された選定委員会における審査を経て、指定管理者の候補者を決定した。

3 指定管理者の指定

平成30年第3回東京都議会定例会に指定管理者の指定に係る議案を提出し、平成30年10月5日、議決により指定された。

東京都体育施設の指定管理者選定について

4 選定理由

(1) 海の森水上競技場

当該団体は、同等規模の水上競技施設のほか、多数の体育施設、公園等における豊富な管理運営実績を有しており、東京2020大会の円滑な準備や大会後の効率的かつ安定的な管理運営が期待できる。

また、春夏のハイシーズンに早朝や夕方の利用時間の拡大を図るなど、利用者ニーズを的確に捉え、施設を有効活用するとともに、周辺に物販店舗がない施設立地を踏まえ、売店を設けるなど、利用者サービスの向上に資する取組が期待できる。

(2) カヌー・スラロームセンター

当該団体は、多くの体育施設における管理運営実績や海外事例の調査に基づく実現性の高い事業計画を示しており、効率的かつ安定的な運営が期待できる。

また、施設の運営において、早朝や夕方の利用時間の拡大（冬期を除く）や専用・共用時間を区分した利用時間枠を設けるとともに、スポーツ振興事業では、対象を明確に定めたうえで充実したメニューを設けるなど、施設の有効活用が期待できる。

(3) 東京アクアティクスセンター

当該団体は、近隣の大型水泳場等の類似施設での管理運営実績を踏まえ、具体的な計画が示されているとともに、施設の立地や利用ニーズを踏まえた現実的な提案となっている。

また、競技団体とよく連携し、着実に事前調整を行っており、実現可能な提案が多く、特に大会誘致の提案が詳細かつ明確で、メインプールとサブプールを別々かつ同時に使い複数の大会を開催するなど、高い稼働率が期待できる。

(4) 夢の島公園アーチェリー場

当該団体は、夢の島公園・夢の島熱帯植物館について、長年にわたる指定管理の実績を有しており、同公園等での管理運営のノウハウを活用して一体的かつ効率的な運営が期待できる。

また、競技大会等の利用準備のために開場時間を前倒しするなど、利用者ニーズを踏まえた時間枠を設けるとともに、利用料金についても、類似施設を勘案し、利用者の使いやすい水準に設定した提案内容となっている。

(5) 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

当該団体は、大井ふ頭中央海浜公園について、長年にわたる指定管理の実績を有しており、同公園の管理運営のノウハウを活かし公園との一体的かつ効率的な運営が期待できる。

また、大会開催数及び利用者見込みにおいて、競技団体と連携して大会を誘致するなど、施設運営計画を上回る提案となっている。

海の森水上競技場



平成29年12月時点の大会時イメージ図

- 計画地：東京都江東区青海三丁目地先
- 実施競技：オリンピック・パラリンピックノボート、カヌー（スプリント）
- 施設概要：競技コース（2,000m）、
グランドスタンド棟（観客席、管理室、トレーニングジム等）、
締切堤、水門施設、揚排水施設
- 座席数： 約2,000席

東京アクアティクスセンター



平成29年11月時点の大会後イメージ図

- 計画地 : 東京都江東区辰巳二丁目2番 (辰巳の森海浜公園内)
- 実施競技 : リンピック/水泳 (競泳、飛込、アーティスティックスイミング) パーリンピック/水泳
- 施設概要 : 延べ面積 約56,000㎡
階数 地上4階地下1階
- 座席数 : 約5,000席

カヌー・スラロームセンター



※ 平成28年5月時点の大会時イメージ図

■ 計画地：東京都江戸川区臨海町六丁目1番
(葛西臨海公園隣接地)

■ 実施競技:オリンピック/カヌー (スラローム)

■ 施設概要：競技コース (長さ約200m)
ウォーミングアップコース、ポンプ施設、ろ過施設、管理棟 (艇庫等) 等

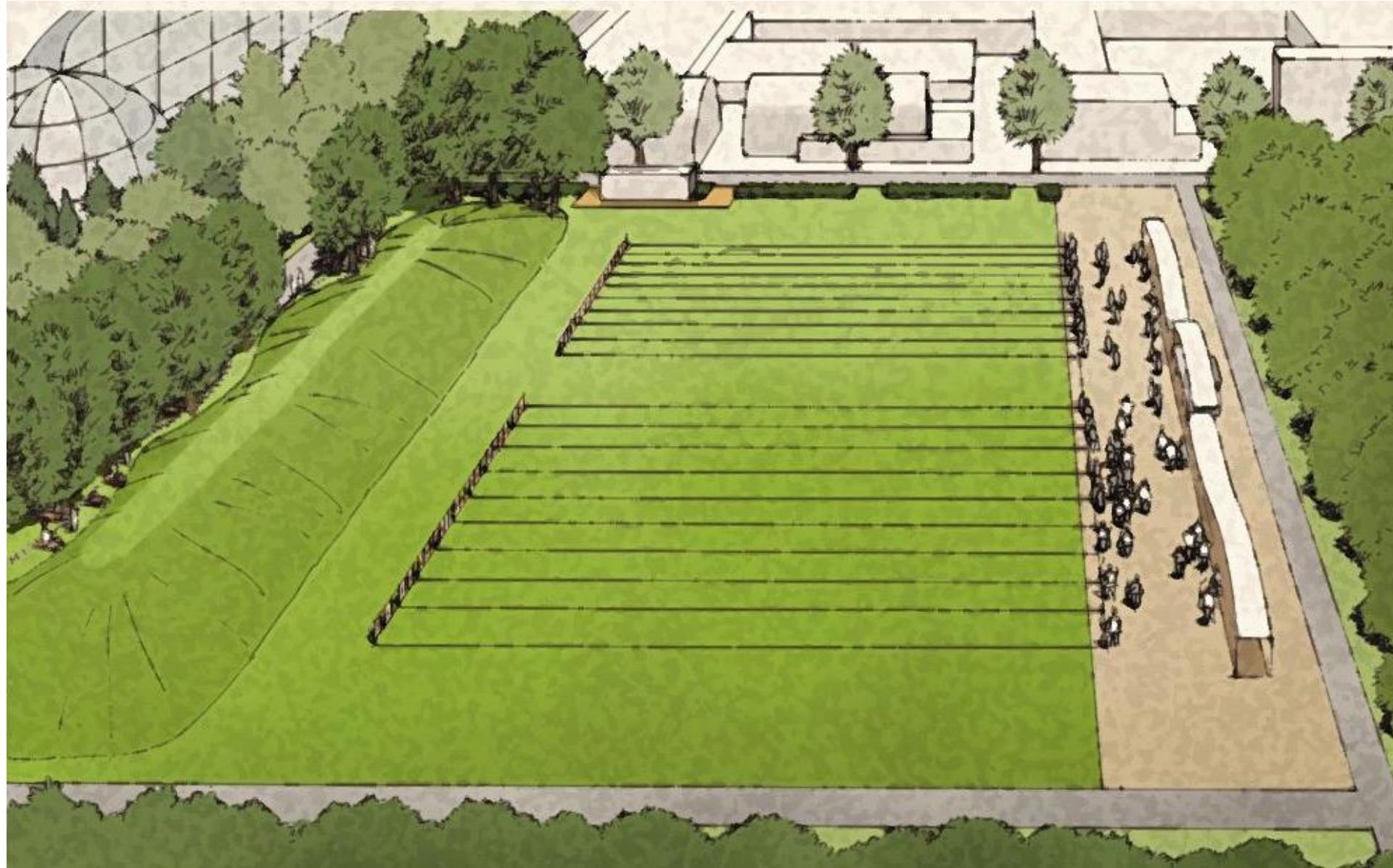
大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場



平成28年6月時点の大会時のイメージ図

- 計画地 : 東京都品川区八潮4丁目、大田区東海1丁目（大井ふ頭中央海浜公園内）
- 実施競技 : オリンピック／ホッケー
- 施設概要 : メインピッチ（新築） 約 5,930m²
サブピッチ（改修） 約 1,940m²
- 座席数 : メインピッチ 約2,600席
サブピッチ 約500席

夢の島公園アーチェリー場



大会後イメージ（競技大会利用時）

- 計画地 : 東京都江東区夢の島二丁目 都立夢の島公園内
- 実施競技 : オリンピック・パラリンピック／アーチェリー
- 施設概要 : 芝生広場（約18,000㎡、一部築山） 1面
遮熱性舗装（約3,500㎡） 1面
日よけ屋根（長さ約130m） 1箇所
倉庫 1箇所

有明アリーナ



平成27年10月時点のイメージ図

- 計画地：東京都江東区有明一丁目11番
- 実施競技：リビ°ック / バレーボール パリリビ°ック / 車いすバスケットボール
- 施設概要：延べ面積 約47,200m² 階数 地上5階
- 座席数：約15,000席（仮設席含む）